

## 奈良、平安時代の地方政務の中心地

一般社団法人・大昔調査会と岡谷市教育委員会は15日午後1時半から、奈良、平安時代の地方政務の中心地跡「榎垣外遺跡」(同市長地)に焦点を当てた「古代諏訪国シンポジウム」を同市中央町のイルフープラザカルチャーセンターで開く。調査研究に関わる専門家5人がパネリストを務め、発掘された遺構や遺物を通して見えてきた当時の暮らしおり、律令国家の成長と衰退などを読み解き、古代諏訪の都に迫る。

(鮎沢健吾)

10月25日に開かれた「榎垣外遺跡」を見て歩く催しで、スクモ塚古墳を訪ねた参加者たち。同遺跡に焦点を当てたシンポジウムが15日に開かれる



# 「榎垣外遺跡」に焦点

大昔調査会  
岡谷市教育委員会

古代諏訪国シンポ15日

て進行する。

約1・3キロ四方の広範囲に

及ぶ同遺跡には諏訪郡(現在

の諏訪、上伊那)を統治する

律令時代の郡衙(役所)があ

り、1982年に開かれた長地

保育園建設に伴う調査で掘立

柱の長大な建物跡を確認。役

所の中心的な建物「正庁」が

あつたと特定された。居住工

リアが役職別に分かれていた

と考えられるほか、721年

に諏訪國が独立した際には國

衙になつた可能性もある」と

推察されている。

参加無料。事前申し込みが

必要。定員の残り枠が少なく

なつており、早めの申し込み

を呼び掛けている。申し込み

は市教委生涯学習課(電話0

266・24・8404)

へ。

大昔調査会は今秋、市教委や岡谷商工会議所のまちあるき事業「おかやるく」と連携して、榎垣外遺跡の探究企画を開催する。市立岡谷美術考古館の特別展示コ

ナーでギャラリートークを催

したのに続き、10月25日は

ガイドの解説を聞きながら官衙遺構(役所跡)や遺物の

出土地を見て歩く企画を実

施。定員に達する盛況ぶりを見せた。

シンポジウムは一連の企画の最終回で、発掘に立ち会った市教委の山田武文さんをはじめ、諏訪考古学会の鵜飼幸雄会長、県考古学会会員の小平和夫さん、飯田市考古博物館の下平博行館長、県考古学会元会長の会田進さんがパネリストとして登壇。発掘調査の成果などテーマに沿つ